

JBWA

*** NEWS LETTER No.5 ***

発信日：2008年 6月 1日
発信元：日本ボトルウォーター協会
No. 00030010

JBWA 第二回年次総会を開催しました

本総会は全国より出席者数 78 社 138 名にて、狩野勝会長の挨拶に始まり竹馬晃監事より昨年度の会計報告に続き、寺岡豊彦代表理事より今期の政策発表が行われました。

内容については下記の通りです。

- ① Joe Doss President & CEO IBWA 講演について
4月28日 IBWA 会長 Doss が当協会において特別講演を実施しました。総会では当日のビデオを編集して上映しました。特別講演の内容については当協会ホームページ 2008年4月28日トピックスを参考にしてください。
- ② 第1回 JBWA コンベンションについて（産業環境管理協会・日本経済新聞社主催）
2008年12月11,12,13日、東京ビックサイトにて行われるエコプロダクツ 2008 に JBWA が日本で初めての TRADEFAIR & CONVETION（仮称）を執り行う事が決定した。当イベントは来場見込み17万人という日本最大規模の環境展です。海外からもプラントメーカーやサーバー、ボトルなどのメーカーが参加予定。
- ③ 世界環境会議について（国連支援交流会主催）
2009年1月20～23日、福岡サンパレスホールにて「世界環境会議」に開催発起人として参加することが決定した。JBWA 会員が取り扱っているガロンボトルのリユースシステムが環境にやさしいと高い評価を受けての参加で、国連加盟の各国与野党国会議員を始め、国連関係者、学識経験者、アール・ゴア米国元副大統領等の出席の下、当日の当協会の発表については5ヶ国語に翻訳され参加各国へ資料として配布されます。

④ 横浜市立大学、受託契約について

本年度 JBWA は環境委員会の提言により、横浜市が平成 10 年度より文部科学省の支援を受けて整備した全国に類例のない環境ホルモン研究のための総合施設を持ち、産官学研究会の設置がされており、学問的にレベルの高い研究実績成果を持つ「横浜市立大学」に当協会取扱商品の安全性や規制強化の可能性、動向調査レポート提出等を求める受託研究を委託した。

⑤ 2007 年 HOD 業界推定数字について

JBWA ではガロンボトル取り扱いの事業所に顧客数、製造量などの数字を調査依頼しご回答頂いた数字に加え、各社 HP などから **2007 年度ガロンボトル推定末端顧客総数 670,000 件、製造量 286,300KL** で、日本にて販売されている大手飲料メーカーなどを含むミネラルウォーターの総製造量の約 1 割を超えたと発表した。

当協会顧問弁護士 河井敏伸より「多様化するクレーム対策について」の特別講演が行われました。河井敏伸弁護士からはクレーム対策は迅速な対応が必要で問題が大きくなる前に弁護士への早期相談が解決への早道。特に協会会員には各社 1 時間完全予約制にて、無料法律相談も実施いたしておりますのでメールでお気軽にお問い合わせください。

お問い合わせは 河井法律事務所

東京都新宿区西新宿 1-25-1 新宿センタービル 42 階

TEL・FAX : 03-5321-7355 E-mail : kawai-law@office.to

当協会理事 岡崎稔工学博士より 2008 年 5 月 14 日、毎日新聞夕刊、yahoo ニュースに掲載の「プラスチックの原料胎児に影響」という記事についての見解が報告されました。

本発表に関しては、10 数年前の環境ホルモン問題が始まった頃から言われていたことであり、特に新しい問題でもありません。JBWA では世界の関係各機関とコンタクトを取り今後ともあらゆる研究結果を観察していきます。

以上